

# Life & Culture

シネマ俱楽部 ★★★



## シネマ俱楽部

岡山 徹 (脚本家)

今週の映画

キノフィルムズ 配給

### Tully

タリーと私の秘密の時間

8月17日(金)より、TOHOシネマズ シャンテほか全国ロードショー

STAFF  
Jason Reitman ..... Director  
Diablo Cody ..... WriterCAST  
Charlize Theron ..... Mado  
Mackenzie Davis ..... Tully  
Mark Duplass ..... Craig  
Ron Livingston ..... Drewあらすじ  
近々3人の子どもが生まれる40代のマーロは、長女のサクセス手が掛からないものの、長男のジョナが先達障害者味の情緒不安定で、大忙しの毎日を送っていた。ある日、裕福な兄のクレイグが出産の前況いに贈ってくれたプレゼントが、マーロの人生をがらりと変える。聞き取り難易度  
レベル2 1/5 (5段階評価で5が一番難しい)  
本当に怒った時やふざけた時以外は、Fワードのような単語も少な目で、普段着の、どこにでもありそうなアメリカ英語。ただ、アメリカ英語独特の日常的な略式表現が多いと、男女のリアルもごくごくがあるので、やや星は多め。コスト  
パフォーマンス  
±0円  
ふらっと入った映画館で、何気なく見ていたらいつの間にか引き込まれてしまうような、不思議な魅力のある映画です。これほど子どもを持つことの大変さが伝わってくる映画もないでしょう。実のある数字にしました。人生いろいろ度  
100%  
私たち皆、こうして生まってきたんだと思い知らされます。母親も父親も大変で、生まってきた子どもも、たとえ赤ちゃんを掛け出してからも、つくづく生き物はみんな大変なんだと思い知らされてしまいます。

©2017 TULLY PRODUCTIONS, LLC. ALL RIGHTS RESERVED.



左が夫のドリューで、右が臨月のマーロ。夫のドリューはゲーム狂で、暇さえあればゲームばかりしているが、それでも手離れないマーロ。ついに彼女は病院に駆けつけ、やがて出産となるが、妹思いの兄が出産の前況いに贈ってくれた贈り物は、物ではなく、意外なプレゼントだった。

3人の子どもを妊娠中のマーロ。長男ジョナが先達障害者のため情緒が不安定なのだが、夫のドリューは家事も育児もマーロ任せだ。ある晩、裕福な兄クレイグの家に一家でお呼ばれすると、食後、クレイグはマーロを地下のパールームに案内する。ハイアンの音楽と、モニターには南洋のビーチの画像が流れる南国の中、クレイグはバーカウンターに入ってバーテンになり、自分にはお酒入りのカクテルを、妹にはソフトドリンクのカクテルを作り始める。

Craig: Sit down, asshole. I'll make you a drink. So, um, I want to talk to you. I have an idea for a special baby gift this time around.

Marlo: Ooooh, is it money?

Craig: No.

Marlo: I don't mind money. I'm not above that. You know that, right?

Craig: Do you know what a night nanny is?

Marlo: Oh God!

Craig: Okay. You know what, everybody does it. At least everyone we know does it. It's just like a regular nanny except they come at night. You know, they stay over for a few weeks or a month and they take care of the baby at night so Mom and Dad can get some sleep. It's no big deal.

Marlo: What? Does she breastfeed?

Craig: No, she doesn't breastfeed your baby! It's not feudal China. No! She wakes you up so you can, you know, do the ...

Marlo: Don't do that.

Craig: ... breastfeeding and then you pass off the baby and go to sleep when you're done. Everybody wins.

Marlo: I don't want a stranger in my house bonding with my newborn every night! That's like a Lifetime movie where the nanny tries to kill the family and the mom survives and she has to walk with a cane at the end.

Craig: All right. Well, we had a night nanny.

Marlo: I don't remember that.

Craig: The reason you don't remember it is because she only came at night. They're like ninjas. They sneak in and out. You barely even know they're there. Elyse said she was great.

Marlo: Craig, please tell me you didn't hire one of those people.

クレイグは答えず、マーロのカクテルに仕上げのパラソルを置いて差し出す。

Marlo: Oh my God, you did!

Craig: Okay. Marlo, you have a lot going on. I know this kid wasn't planned, and yes, it's the greatest thing that ever happened. It's a miracle straight from heaven, blah, blah, blah. But I don't want what happened last time.

Marlo: Don't do that.

Craig: Hey ... I love you.

クレイグ: ほら、まあ座れ。ドリンクを作ってるや。で、相談なんだが、今回は赤ん坊のために特別な贈り物をしたいんだよ。

マーロ: あら、お金かしら?

クレイグ:いや、違う。

マーロ: お金でも構わないのよ、この際ね。分かるでしょ?

クレイグ: ナイト・シッターって知ってるか?

マーロ: やだ!

クレイグ: やだじゃないよ。今どき、みんなやってるんだ。少なくとも、俺の周りはみんなやってる。普通の乳母と違うのは、夜来てくれるってだけだ。週単位でもいいし、月単位でもやってくれる。夜に面倒を見てくれるから、親は寝られるというわけだ。それだけのことだよ。

マーロ: へえ、じゃあ何、おっぱいもあげてくれるの?

クレイグ: そんなわけないだろ。封建時代の中国じゃあるまいし。その時がきたら、起こしてくれて、お前が授乳をして ...

マーロ: やめて。

クレイグ: それが済んだら、また赤ん坊を渡して、お前は寝られるんだよ。それで、みんなハッピーじゃないか。

マーロ: 知らない人に毎晩子どもを預けるなんて、とんでもないわ! 有料チャネルの映画みたいに、子守りが家族を殺して母親だけが生き延びて、でもつえをつきながら歩くはめになる、なんてことになりかねないじゃないの。

クレイグ: うちも雇ってたんだ。

マーロ: そうだった。

クレイグ: 知らないのも無理ないさ。子守りは夜に来て、朝には帰ってたからな。まるで忍者だ。忍んでやってきて、忍んで帰るんだ。だから、いるかいないか分からぬといふわけだ。妻も、満足だったと言ってる。

マーロ: クレイグ、お願ひ、もう頼んだなんて言わないでよ。

クレイグは答えず、マーロのカクテルに仕上げのパラソルを置いて差し出す。

マーロ: あ~あ、雇ったのね。

クレイグ: だって、大変だろ。お腹の子は予定外だったのは知ってる。確かに素晴らしいことだし、天国から舞い降りた最高に幸せな奇跡。とか何とか、前の浮くことは置いといて、でも前回と同じことを繰り返すよな。

マーロ: (顔を背けて) 蒸し返さないで。

クレイグ: お前を愛してるんだ。



長男のジョナは先達障害で、原因不明でゲズりだすこともしばしば。母親のマーロは、感覚統合療法のリハビリとして息子にブランシングを施しているが、あまり効果はないようだ。そんな中での出来だった。



兄がプレゼントしてくれたのは、ナイト・ナニーという夜専門のベビーシッター、タリー(左)だった。助けを得るのを阻んでいたマーロだったが、次第にタリーの不思議な人間的魅力のところになっていく。

Marlo: No, seriously. You're being an asshole. Just stop.

Craig: Drew needs to focus on his proto structures and you need to be happy, especially for Jonah. I see the way you're looking at me. I know you think this is just some bougie thing that only rich assholes do, and maybe it is, okay? Maybe.

マーロ: ねえ、マジで、やめて。最低だわ。クレイグ: ドリューは仕事で忙しいし、お前にはご機嫌でいてほしいんだ。特に、ジョナのためにもね。その目が言わんばかりだ。また始まったブルジョワなやり口だと、嫌らしい金持たちのやり口だって言いたいんだろう? だけど、忘れるな。いつもそうだったわけじゃない。俺だって、お前と同じ貧乏な家に育ったんだ。同じ両親のもとで、ぼろいピュイックに乗ってさ。(マーロの言葉をさえぎり)いいから、黙って聞け。これだけは言っておくからな、マーロ。

マーロ: はい。

Craig: Get over yourself.

クレイグ: つまらない意地を張るな。

クレイグがカウンターの上にそっと差し出したのは、ナイト・シッターの電話番号が書かれた「プレゼント」の紙切れだった。

Craig: Call her. She comes highly recommended.

クレイグ: 電話しろ。評判の子守りなんだ。

兄夫婦の家から帰る途中、マーロと夫のドリューはガソリン・スタンドで給油しながら、兄の申し出について話し込む。子どもたちは、車の中でスヤスヤ寝ている。

Marlo: You can't just outsource your entire life!

Drew: Sounds pretty ideal to me. We don't have to wake up five times a night or whatever.

Marlo: You don't even wake up anyway.

Drew: Well, I don't have boobs.

Marlo: Not yet.

Craig: But it's not like I could do anything.

Marlo: It's fine. It is. You have a big year.

Drew: I've got a couple of trips coming up. You think you're going to be okay? Honey?

Marlo: What? Did you say something?

画面変わって、青味がかった水面下の映像。人魚のような女性が泳いでいる。これは夢なのか? 夜中、目を覚ましてトイレに向かうマーロだが、その途中で破裂してしまう。ドリューはマーロを連れて、病院へ急行し、入院して間もなく、マーロは娘に女児を出産。退院すると、授乳、オムツ換え、洗濯、また授乳の悪夢が始まるが…。

### Words & Phrases

### 今週のキーフレーズ

► I'm not above ~ : 「~に興味がある、~がしたい」

I'm above ~で「~には興味ない、~したくない」という意味で、くだらないと思っていることや、倫理的に間違っていると思うことに対する使われる。notを付けた形だと「(例え間違っていたり後ろ指を指されたとしても)やりたい」という意味で使われる。口語だと軽めのニュアンスでも使われる。

◆ I'm not above telling him a few lies until things settle down.  
(物事が落ち着くまで、彼に少しくらいうそをつくことも辞さない)

### これを読めば映画ツウ!

親しいカナダ人の友人が双子を出産したとき、筆者もいろいろアシストした経験があるのだが、出産後に発生するもろもろの大変さが伝わってくる映画だった。作中、兄が手配してくれたタリーという22時半に現れるナイト・シッターの存在は、マーロにとって白馬の王子様のような存在となる。白馬の王子様、ないし白馬の騎士は、英語ではknight in shining armorと言い、damsel in distress(因われの姫君)とよくペアで使われる。子育てという「非日常」に因われた身となったマーロは、まさにdamsel in distressであり、そこにはさっとうと現れる白馬の騎士のタリーとの不思議な関係は、女性同士の友情を描いた名曲『フライド・グリーン・トマト』(91)の、暴力夫に悩まされる妊娠中のルースと、それを助けに現れるイジーの関係性の写しのようである。

場合によっては1時間以上寝られない授乳マシン化す地獄や、母乳の出過ぎなど、新生児を抱える母ならではの苦勞が丁寧に描かれる傍ら、たまたま流れているテレビやイメージ映像で再三出てくる人魚のイメージは何なのだろう? もともと海から生まれた生命や出産への言及だろう? いや、それよりもこれは、この映画のスタート近くで起こる事件への伏線のようだ。

1人の女性のentire lifeを淡々と積み上げ、單調で平凡な日常生活を描きながらも、どきっとするドラマに仕立て上げたのは、みずみずしい『JUNO/ジュノ』(07)を世に送り出したジェイソン・ライトマン監督と、同作品の脚本家でもあるディアブロ・コディのコンビで、今回も並々ならぬ手腕を発揮している。そして、マーロを演じるのは、『モンスター』(03)で10キロ以上体重を増やしたことでも話題になったシャーリーズ・セロンで、またまた体重を大幅にアップした体型で登場して、満みを出している。

この映画を見て、タリーとあなたの秘密の時間を作つてはいかがだろう? きっと、フライド・グリーン・トマトの料理が食べたくなるはずだ。

### 次回の映画

豊かな人生を送るためにヒントが詰まった人生賛歌『Finding Your Feet』